

令和2年度 第4四半期地域経済動向調査

(令和3年1月～3月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査 (新温泉町商工会)

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査 (全国商工会連合会)

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査 (豊岡公共職業安定所)

<https://www.hwiroha.com/area/Hyogo/Toyooka.html>

④業種別業況判断

但馬の経済指標 (兵庫県但馬県民局)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

⑤REASASによる分析 (人口・産業・観光)・・・別資料

RESAS (国のビッグデータ)

<https://summary.resas.go.jp/summary.html>

①会員アンケート調査

経営状況によるアンケート調査結果（2回目・3回目）

新温泉町商工会

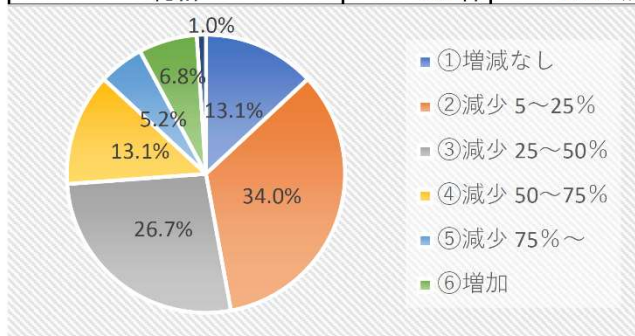
2回目（10月1日調査）

案内450件 回答191件 回答率42.4%

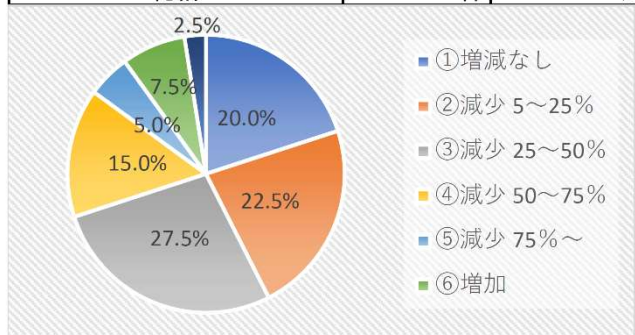
（内：QRでの回答36件）

売上状況（対前年同月比）

全業種		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	25件	13.1%
②減少 5～25%	65件	34.0%
③減少 25～50%	51件	26.7%
④減少 50～75%	25件	13.1%
⑤減少 75%～	10件	5.2%
⑥増加	13件	6.8%
⑦未回答	2件	1.0%
総計	191件	100.0%



建設業		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	8件	20.0%
②減少 5～25%	9件	22.5%
③減少 25～50%	11件	27.5%
④減少 50～75%	6件	15.0%
⑤減少 75%～	2件	5.0%
⑥増加	3件	7.5%
⑦未回答	1件	2.5%
総計	40件	100.0%



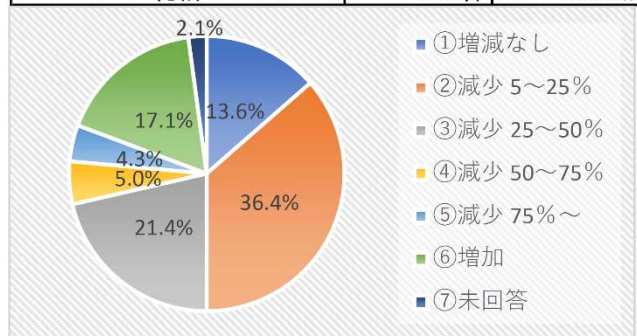
3回目（1月1日調査）

案内432件 回答140件 回答率32.4%

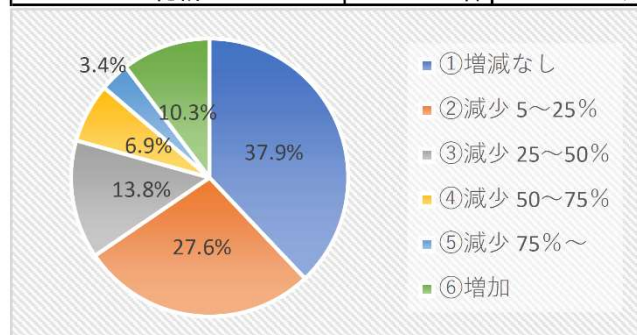
（内：QRでの回答33件）

売上状況（対前年同月比）

全業種		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	19件	13.6%
②減少 5～25%	51件	36.4%
③減少 25～50%	30件	21.4%
④減少 50～75%	7件	5.0%
⑤減少 75%～	6件	4.3%
⑥増加	24件	17.1%
⑦未回答	3件	2.1%
総計	140件	100.0%

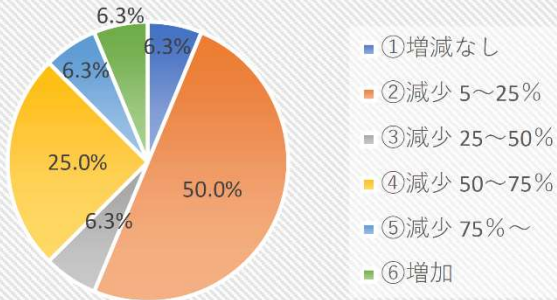


建設業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	11件	37.9%
②減少 5～25%	8件	27.6%
③減少 25～50%	4件	13.8%
④減少 50～75%	2件	6.9%
⑤減少 75%～	1件	3.4%
⑥増加	3件	10.3%
⑦未回答	0件	0.0%
総計	29件	100.0%



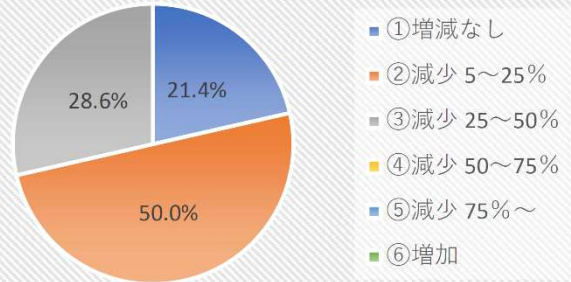
売上状況（対前年同月比）

製造業		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	1件	6.3%
②減少 5～25%	8件	50.0%
③減少 25～50%	1件	6.3%
④減少 50～75%	4件	25.0%
⑤減少 75%～	1件	6.3%
⑥増加	1件	6.3%
総計	16件	100.0%



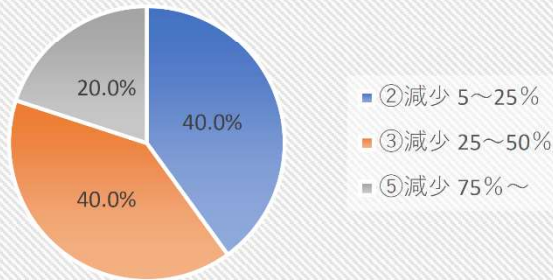
売上状況（対前年同月比）

製造業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	3件	21.4%
②減少 5～25%	7件	50.0%
③減少 25～50%	4件	28.6%
④減少 50～75%	0件	0.0%
⑤減少 75%～	0件	0.0%
⑥増加	0件	0.0%
総計	14件	100.0%



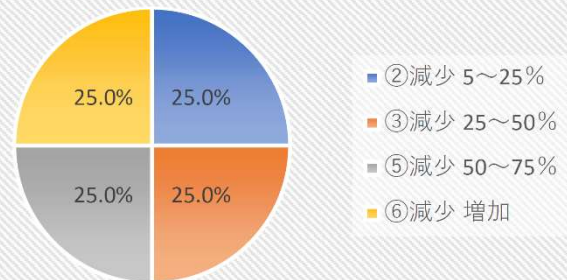
卸売業

7～9月		
件数	構成比	
②減少 5～25%	2件	40.0%
③減少 25～50%	2件	40.0%
⑤減少 75%～	1件	20.0%
総計	5件	100.0%



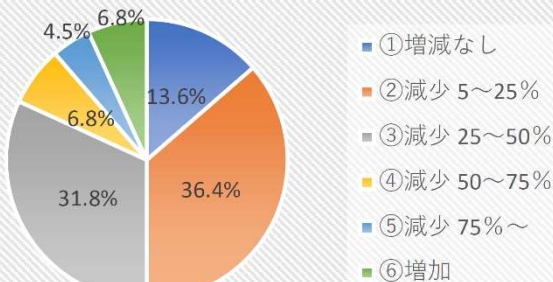
卸売業

10～12月		
件数	構成比	
②減少 5～25%	1件	25.0%
③減少 25～50%	1件	25.0%
⑤減少 50～75%	1件	25.0%
⑥減少 増加	1件	25.0%
総計	4件	100.0%



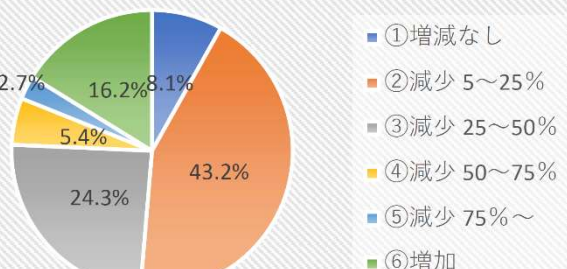
小売業

7～9月		
件数	構成比	
①増減なし	6件	13.6%
②減少 5～25%	16件	36.4%
③減少 25～50%	14件	31.8%
④減少 50～75%	3件	6.8%
⑤減少 75%～	2件	4.5%
⑥増加	3件	6.8%
総計	44件	100.0%



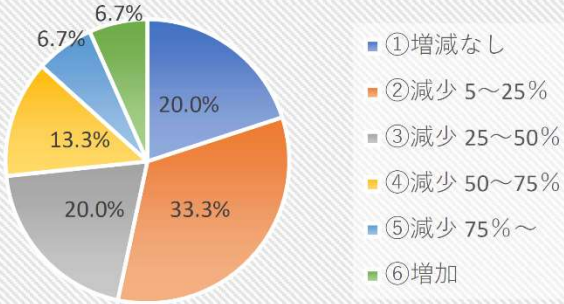
小売業

10～12月		
件数	構成比	
①増減なし	3件	8.1%
②減少 5～25%	16件	43.2%
③減少 25～50%	9件	24.3%
④減少 50～75%	2件	5.4%
⑤減少 75%～	1件	2.7%
⑥増加	6件	16.2%
総計	37件	100.0%

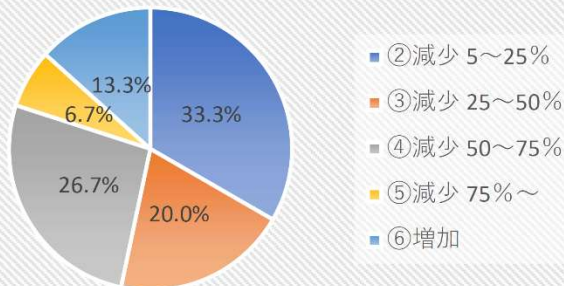


売上状況（対前年同月比）

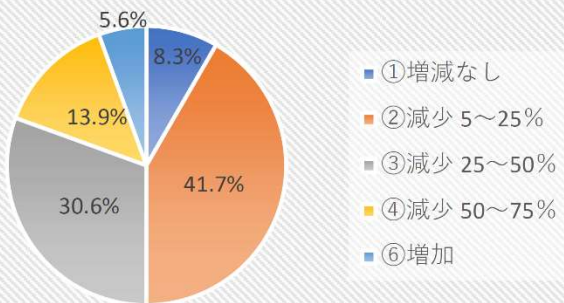
飲食業 7～9月		
	件数	構成比
①増減なし	3件	20.0%
②減少 5～25%	5件	33.3%
③減少 25～50%	3件	20.0%
④減少 50～75%	2件	13.3%
⑤減少 75%～	1件	6.7%
⑥増加	1件	6.7%
総計	15件	100.0%



宿泊業 7～9月		
	件数	構成比
②減少 5～25%	5件	33.3%
③減少 25～50%	3件	20.0%
④減少 50～75%	4件	26.7%
⑤減少 75%～	1件	6.7%
⑥増加	2件	13.3%
総計	15件	100.0%

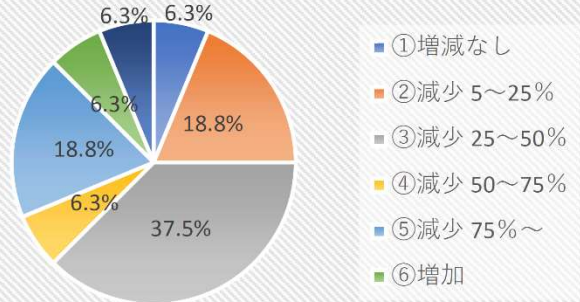


サービス業 7～9月		
	件数	構成比
①増減なし	3件	8.3%
②減少 5～25%	15件	41.7%
③減少 25～50%	11件	30.6%
④減少 50～75%	5件	13.9%
⑥増加	2件	5.6%
総計	36件	100.0%

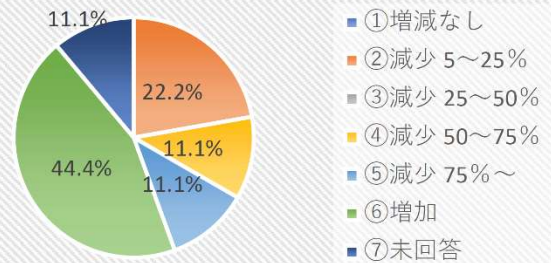


売上状況（対前年同月比）

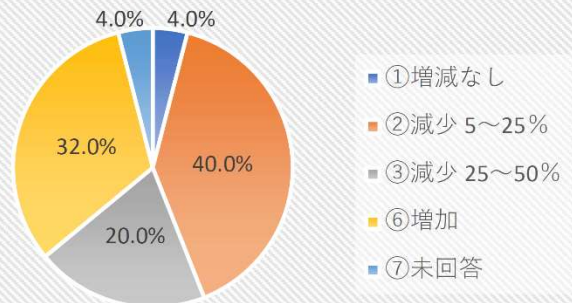
飲食業 10～12月		
	件数	構成比
①増減なし	1件	6.3%
②減少 5～25%	3件	18.8%
③減少 25～50%	6件	37.5%
④減少 50～75%	1件	6.3%
⑤減少 75%～	3件	18.8%
⑥増加	1件	6.3%
⑦未回答	1件	6.3%
総計	16件	100.0%



宿泊業 10～12月		
	件数	構成比
①増減なし	0件	0.0%
②減少 5～25%	2件	22.2%
③減少 25～50%	0件	0.0%
④減少 50～75%	1件	11.1%
⑤減少 75%～	1件	11.1%
⑥増加	4件	44.4%
⑦未回答	1件	0.0%
総計	9件	100.0%



サービス業 10～12月		
	件数	構成比
①増減なし	1件	4.0%
②減少 5～25%	10件	40.0%
③減少 25～50%	5件	20.0%
⑥増加	8件	32.0%
⑦未回答	1件	4.0%
総計	25件	100.0%



売上状況（対前年同月比）

農業		
7～9月	件数	構成比
⑥増加	1件	100.0%
総計	1件	100.0%

その他		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	4件	22.2%
②減少 5～25%	5件	27.8%
③減少 25～50%	5件	27.8%
④減少 50～75%	1件	5.6%
⑤減少 75%～	2件	11.1%
⑦未回答	1件	5.6%
総計	18件	100.0%

未回答		
7～9月	件数	構成比
③減少 25～50%	1件	100.0%
総計	1件	

総合計	191件
-----	------

売上状況（対前年同月比）

農業		
10～12月	件数	構成比
②減少 5～25%	1件	50.0%
⑥増加	1件	50.0%
総計	2件	100.0%

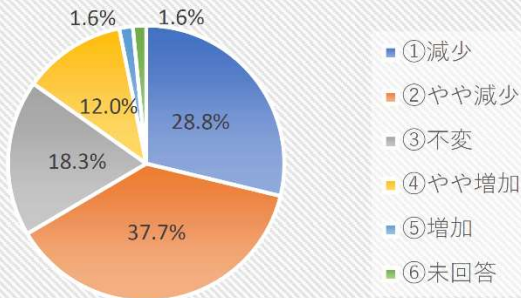
その他		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	0件	0.0%
②減少 5～25%	3件	75.0%
③減少 25～50%	1件	25.0%
④減少 50～75%	0件	0.0%
⑤減少 75%～	0件	0.0%
⑦未回答	0件	0.0%
総計	4件	100.0%

総合計	140件
-----	------

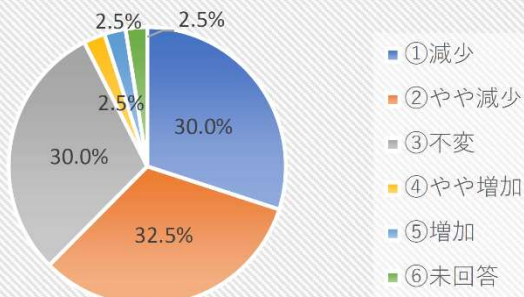
2回目（10月1日調査）

今後の売上見込

全業種 10～12月	件数	構成比
①減少	55件	28.8%
②やや減少	72件	37.7%
③不変	35件	18.3%
④やや増加	23件	12.0%
⑤増加	3件	1.6%
⑥未回答	3件	1.6%
総計	191件	100.0%



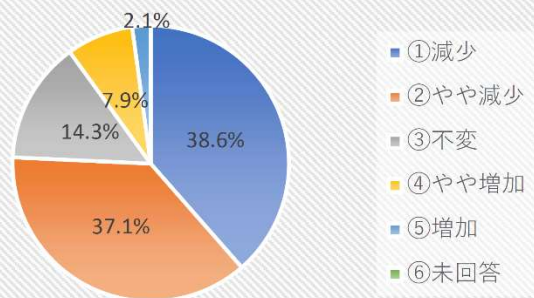
建設業 10～12月	件数	構成比
①減少	12件	30.0%
②やや減少	13件	32.5%
③不変	12件	30.0%
④やや増加	1件	2.5%
⑤増加	1件	2.5%
⑥未回答	1件	2.5%
総計	40件	100.0%



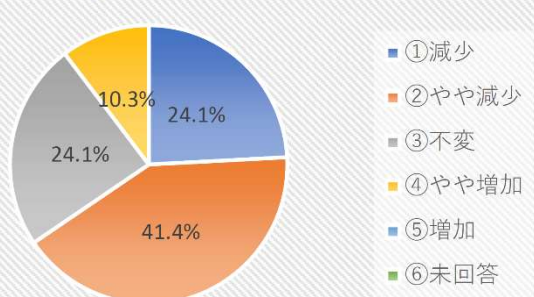
3回目（1月1日調査）

今後の売上見込

全業種 1～3月	件数	構成比
①減少	54件	38.6%
②やや減少	52件	37.1%
③不変	20件	14.3%
④やや増加	11件	7.9%
⑤増加	3件	2.1%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	140件	100.0%

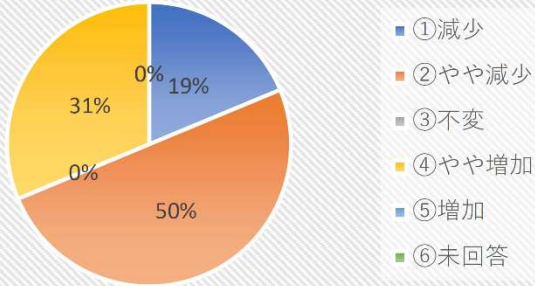


建設業 1～3月	件数	構成比
①減少	7件	24.1%
②やや減少	12件	41.4%
③不変	7件	24.1%
④やや増加	3件	10.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	29件	100.0%



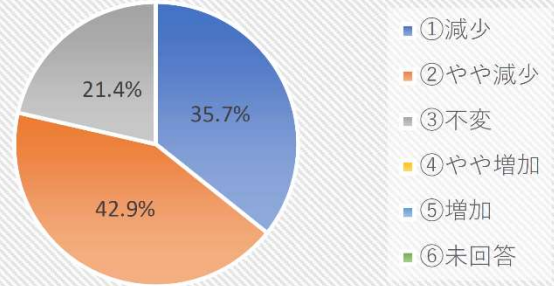
今後の売上見込

製造業		
10~12月	件数	構成比
①減少	3件	18.8%
②やや減少	8件	50.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	5件	31.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	16件	100.0%



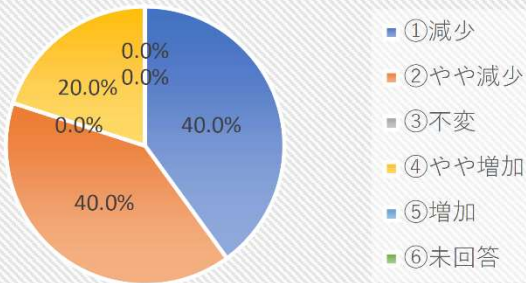
今後の売上見込

製造業		
1~3月	件数	構成比
①減少	5件	35.7%
②やや減少	6件	42.9%
③不変	3件	21.4%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	14件	100.0%



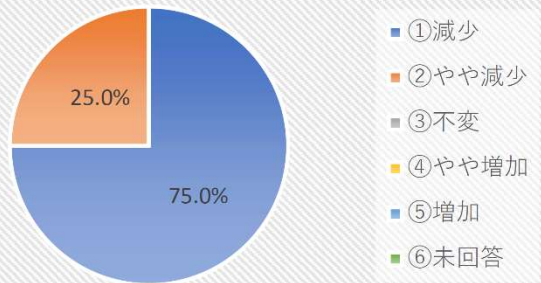
卸売業

10~12月		
件数	構成比	
①減少	2件	40.0%
②やや減少	2件	40.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	1件	20.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	5件	100.0%



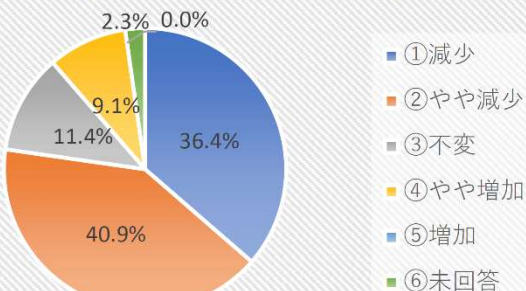
卸売業

1~3月		
件数	構成比	
①減少	3件	75.0%
②やや減少	1件	25.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	4件	100.0%



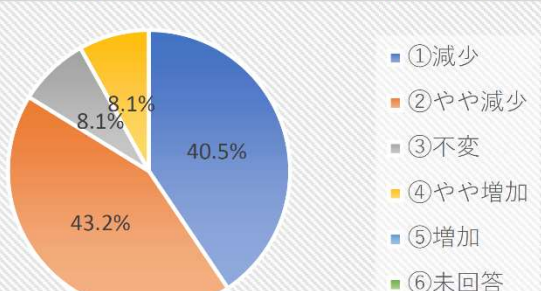
小売業

10~12月		
件数	構成比	
①減少	16件	36.4%
②やや減少	18件	40.9%
③不変	5件	11.4%
④やや増加	4件	9.1%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	2.3%
総計	44件	100.0%



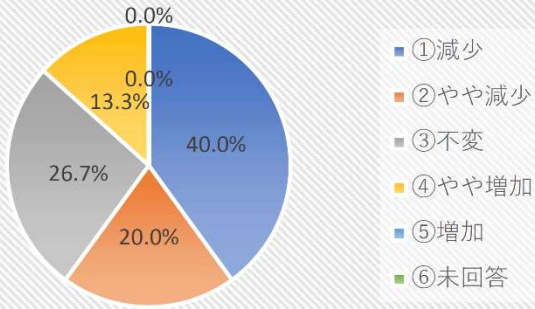
小売業

1~3月		
件数	構成比	
①減少	15件	40.5%
②やや減少	16件	43.2%
③不変	3件	8.1%
④やや増加	3件	8.1%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	37件	100.0%



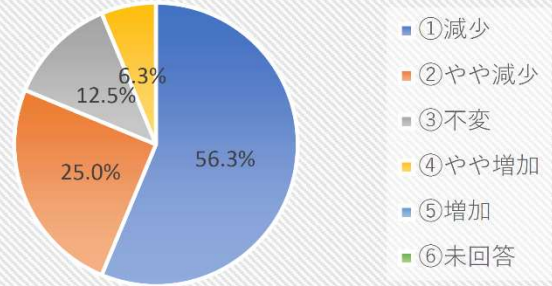
今後の売上見込

飲食業		
10~12月	件数	構成比
①減少	6件	40.0%
②やや減少	3件	20.0%
③不変	4件	26.7%
④やや増加	2件	13.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	15件	100.0%



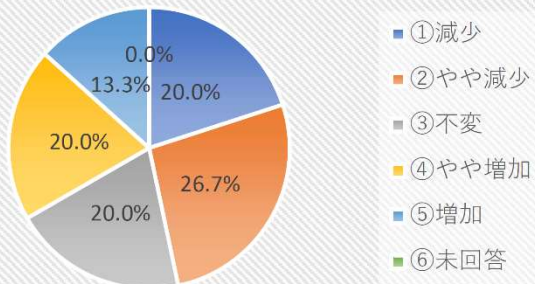
今後の売上見込

飲食業		
1~3月	件数	構成比
①減少	9件	56.3%
②やや減少	4件	25.0%
③不変	2件	12.5%
④やや増加	1件	6.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	16件	100.0%



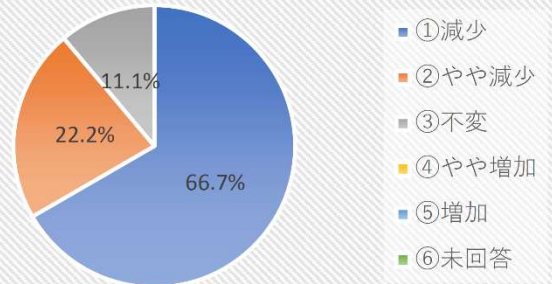
宿泊業

10~12月		
件数	構成比	
①減少	3件	20.0%
②やや減少	4件	26.7%
③不変	3件	20.0%
④やや増加	3件	20.0%
⑤増加	2件	13.3%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	15件	100.0%



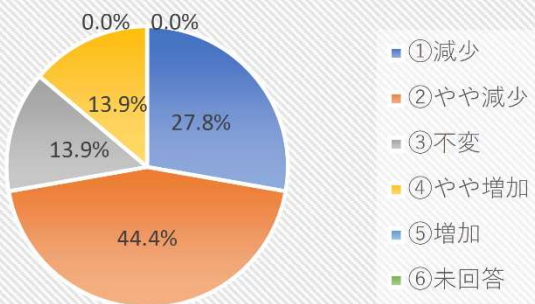
宿泊業

1~3月		
件数	構成比	
①減少	6件	66.7%
②やや減少	2件	22.2%
③不変	1件	11.1%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	9件	100.0%



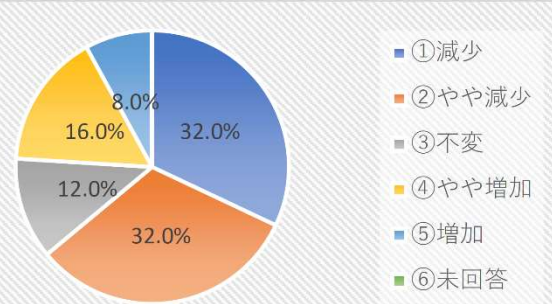
サービス業

10~12月		
件数	構成比	
①減少	10件	27.8%
②やや減少	16件	44.4%
③不変	5件	13.9%
④やや増加	5件	13.9%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	36件	100.0%



サービス業

1~3月		
件数	構成比	
①減少	8件	32.0%
②やや減少	8件	32.0%
③不変	3件	12.0%
④やや増加	4件	16.0%
⑤増加	2件	8.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	25件	100.0%



今後の売上見込

農業		
10~12月	件数	構成比
①減少	0件	0.0%
②やや減少	0件	0.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	1件	100.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	1件	100.0%

その他		
10~12月	件数	構成比
①減少	3件	16.7%
②やや減少	7件	38.9%
③不変	6件	33.3%
④やや増加	1件	5.6%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	5.6%
総計	18件	

未回答		
10~12月	件数	
②やや減少	1件	100.0%
総計	1件	

総合計	191件
-----	------

今後の売上見込

農業		
1~3月	件数	構成比
①減少	0件	0.0%
②やや減少	0件	0.0%
③不変	1件	50.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	1件	50.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	2件	100.0%

その他		
1~3月	件数	構成比
①減少	1件	25.0%
②やや減少	3件	75.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	4件	100.0%

総合計	140件
-----	------

②中小企業景況感

製造業

全般に低水準ながら輸送用機械などが大幅改善

<主要 3DI の動き>

主要 3DI の前年同期比をみると、そろって上昇した。特に売上額 DI の上昇幅が大きい。ただし、水準は依然として低い。新型コロナウイルス感染拡大の悪影響が広がり始めた、1 年前（2020 年 1 - 3 月期）と比較しても 7.3 ポイント低い水準にある。

売上額 DI の内訳を見ると、「好転」が 1.9 ポイント増加、「悪化」は 7.1 ポイント減少した。それでも「悪化」が全体の約 6 割に達する厳しい状況にある。

来期見通しは今期と比べ若干のプラス方向ではあるものの、小幅であり動きは鈍い。

売上額 DI：- 45.6（前期比 + 9.0 ポイント）：大幅上昇

採算 DI：- 39.4（前期比 + 7.0 ポイント）：大幅上昇

資金繰り DI：- 24.7（前期比 + 4.0 ポイント）：上昇

<経営上の問題点：最大の問題としては指摘された要因>

1 位 需要の停滞（38.3%）

2 位 生産設備の不足・老朽化（10.8%）

3 位 製品ニーズの変化（8.5%）（ ）内は同要因を指摘する経営者の割合

1～3 位の順位は昨期から不変。1 位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は昨期から微減。2 位「生産設備の不足・老朽化」、3 位「製品ニーズの変化」の私的割合は昨期からはほぼ横ばい（指摘割合は 1 割前後であり、両者とも顕著な要因ではない）。ただ、4 位の「原材料価格の上昇」（指摘割合 7.3%）が昨期より 3 ポイント増加していること、5 位「従業員の確保難」も約 7% 程度の指摘割合があることから、一部で生産が最悪期を脱し、回復に向かってしていると推測される。

<タイプ別にみた売上額 DI >

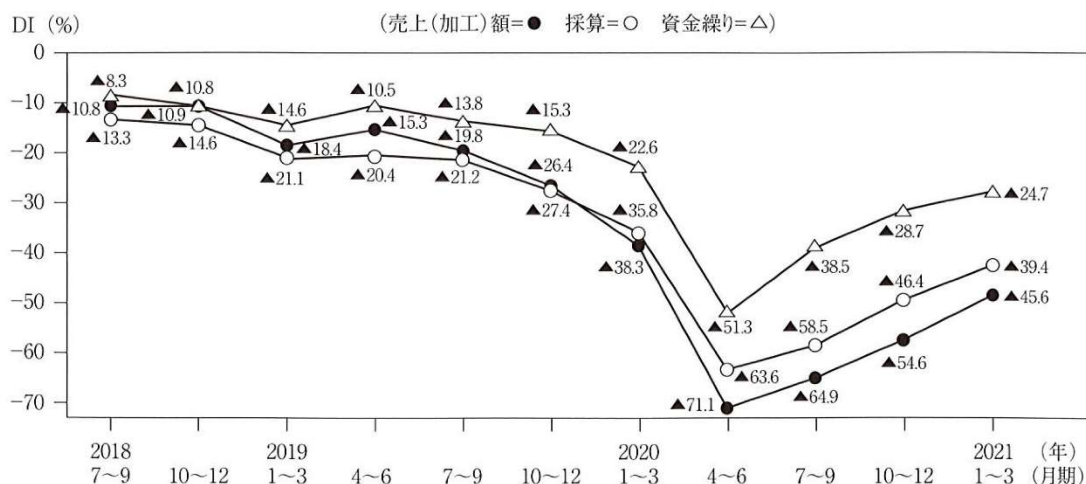
売上額 DI の業種別内訳をみると 17 業種中、11 業種で前期から改善、6 業種で悪化した。改善幅の大きかった業種は、輸送用機械器具製造業（昨期から 31.8 ポイント改善）、金属製品製造業（同 27.4 ポイント改善）、一般機械器具製造業（同 26.6 ポイント改善）、化学工業（同 24.9 ポイント改善）ほか、プラスチック製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業も昨期から 20 ポイント超の改善となった。半面、繊維工業、精密機械器具製造業、衣服・その他繊維製品製造業には昨期から 2 桁ポイントの悪化が見られた。

地域別にみると、8 地域中、北海道を除く 7 地域で改善した。関東、四国は昨期と比べ 2 桁ポイント改善したが、水準は全般に低い。人口規模別でも、すべての地域で改善したが、地域間の差は小さく、水準は低い。

従業員規模別でみると、従業員 101 人以上の規模（構成比 1%）で悪化した以外は改善している。大規模な中小製造業の水準が高い（マイナス幅が小さい）傾向にある。

1. 主要 3 項目の動き

〈図 2 - 1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	▲32.8	6.2	10.3	9	▲27.8	5.1	12.1	7.0
前年比	▲55.8	▲45.1	▲28.2	△7.3	▲43.2	▲37.3	▲19.0	△3.6

建設業

3期連続の改善で一部に人手不足感も浮上

<主要 3DI の動き>

主要 3DI の前年同期比をみると、主要 3DI はそろって上昇した。いずれも水準は依然、高いとは言えないものの、他の 3 業種（製造業、小売業、サービス業）と比べてマイナス幅が小さい。

来期は若干の悪化傾向を示しており、回復の足取りには懸念が残る。

完成工事額 DI の内訳をみると、「好転」は昨期から横ばい、「悪化」は 2.4 ポイント減少した。「好転」は 2 割に満たず、「悪化」は 4 割超、「不変」が約 4 割という構図。

完成工事（請負工事）額 DI：- 21.7（前期比+ 2.4 ポイント）：上昇

採算（経常利益）DI：- 20.9（前期比+ 3.8 ポイント）：上昇

資金繰り DI：- 9.2（前期比+ 2.5 ポイント）：上昇

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

1 位 従業員の確保難（20.4%）

2 位 民間需要の停滞（18.0%）

3 位 官公需要の停滞（12.1%）（ ）内は同要因を指摘する経営者の割合

今期の 1 位「従業員の確保難」を指摘する経営者の割合は昨期からほぼ横ばいながら、昨期 1 位の「民間需要の停滞」を上回った。「民間需要の停滞」は昨期から指摘割合が 2.6 ポイント減少し、今期は 2 位。3 位「官公需要の停滞」の指摘割合は昨期から小幅に増加した。また、4 位「熟練技術者の確保難」（指摘割合 10.8%）、5 位「材料価格の上昇」（同 8.3%）の指摘割合も昨期から若干増加しており、需要は緩やかに回復しつつあると推測される。

<タイプ別にみた完成工事額 DI>

建設業中の業種内訳をみると、今期は職別工事業で悪化した半面、総合工事業で小幅改善、設備工事業では 2 桁ポイントの大幅改善となった。水準で見ると、総合工事業の水準が最も高い（マイナス幅が小さい）。一方、職別工事業の水準は低く、マイナス 30 を下回る水準に低迷している。

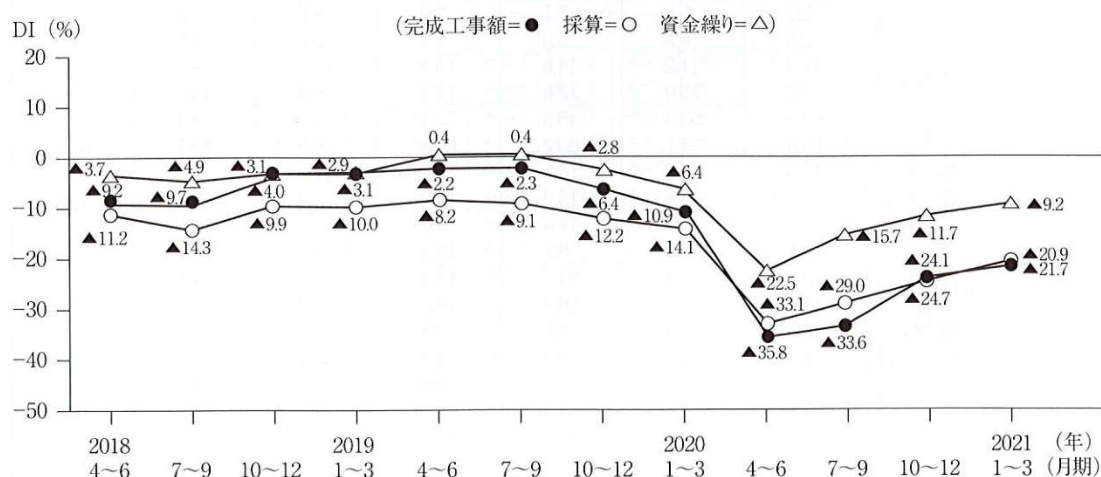
地域別にみると、8 地域中 5 地域で改善、3 地域で悪化した。近畿、九州では 2 桁ポイント改善したほか、東北、四国も大幅な改善がみられた。半面、北海道、中国では 2 桁ポイントの悪化となった。水準では九州で高く、ゼロ近傍に近づいている一方、中国はマイナス 30 を下回る水準に低迷しており、地域差が大きい。

人口規模別にみると、まちまちの動きだが、水準は都市部でやや高くなっている。

従業員規模別の動きをみると、従業員 10 人以下の業態で改善、それ以上の規模では悪化がみられた。それでも、大まかにみると従業員規模が大きいほど水準も高い傾向にある。

1. 主要 3 項目の動き

（図 3 - 1）主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲24.9	2.2	9.5	2.4	▲19.0	4.1	4.3	3.8
前年比	▲33.6	▲31.3	▲17.7	△10.8	▲24.9	▲19.9	▲12.5	△6.8

小売業

昨期から大きな変動なく、低迷の状況が続く

<主要 3DI の動き>

主要 3DI のうち、売上額、採算は昨期からほぼ横ばい、資金繰りは小幅下落した。売上額 DI はマイナス 50 を下回る水準で低迷しており、厳しい状況が続いている。

来期は改善予想となっている。

売上額 DI の内訳を見ると、「好転」が 1.6 ポイント減少、「悪化」も 1.8 ポイント減少した。「好転」の割合は 1 割強、「悪化」は 6 割強に達し、「不変」は約 4 分の 1 という状況。

売上額 DI：- 50.2（前期比 + 0.2 ポイント）：ほぼ横ばい

採算 DI：- 43.5（前期比 + 0.2 ポイント）：ほぼ横ばい

資金繰り DI：- 27.6（前期比 - 1.5 ポイント）：小幅下落

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

1 位 需要の停滞（25.1%）

2 位 消費者ニーズの変化（15.1%）

3 位 大型店・中型店の進出による競争の激化（12.6%）

（ ）内は同要因を指摘する経営者の割合

今期の 1～3 位の順位は昨期から変わっていない。1 位「需要の停滞」、2 位「消費者ニーズの変化」、3 位「大型店・中型店の進出による競争の激化」を指摘する経営者の割合はいずれも昨期からほぼ横ばいである。4 位「購買力の他地域への流出」（指摘割合 12.3%）も昨期からほぼ横ばいとなった。2～4 位の、いわゆる中長期的な（構造的な）問題点の指摘割合が合わせて 4 割に達しており、困難性・課題は全く変わっていない。

<タイプ別にみた売上額 DI>

小売業の中で業種別の内訳をみると、6 業種中、飲食料品小売業、その他小売業の 2 業種で改善し、その他 4 業種で悪化がみられた。各種商品小売業は 2 桁ポイントの悪化となった。水準では家具・建具・じゅう器小売業が最も高い（マイナス幅が小さい）が、それでもマイナス 30 を下回っている。一方、最低水準にあるのはマイナス 60 を下回る織物・衣服・身の回り品小売業である。

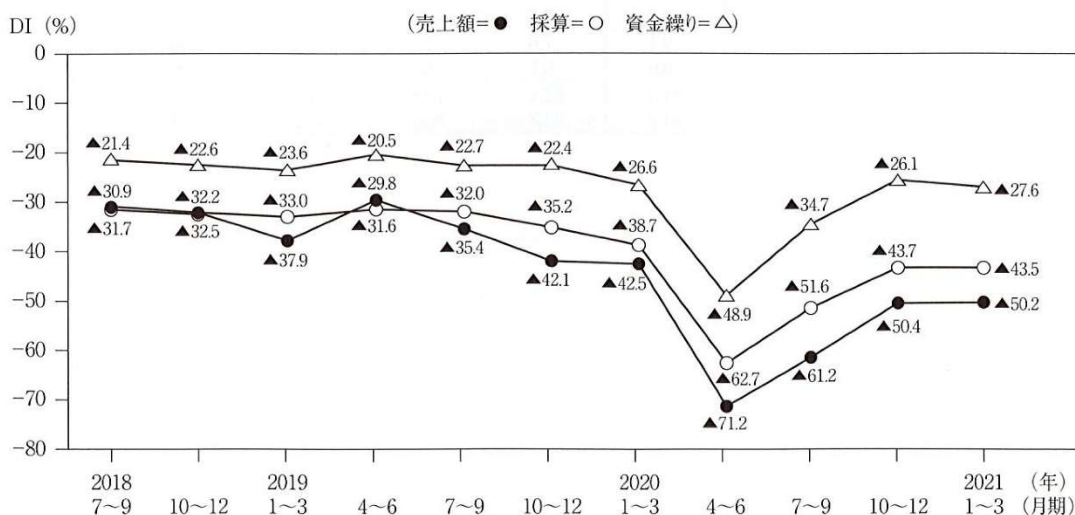
地域別にみると、8 地域中 5 地域で改善、残る 3 地域で悪化した。四国では 2 桁ポイント改善、中部も大幅な改善がみられた。半面、近畿、九州では大幅に悪化し、地域によってまちまちの動きとなった。水準はいずれの地域も低い。

人口規模別にみると、いずれの地域も小動きであり、水準でも地域間の差はみられない。

従業員規模別にみると、今期の動きはまちまちだが、従業員規模が大きいほど水準が高い（マイナス幅が小さい）傾向にある。

1. 主要 3 項目の動き

〈図 4-1〉主要景況項目の推移 — 前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲28.7	10.0	10.8	0.2	▲24.0	11.1	7.9	0.2
前年比	▲41.4	▲25.8	▲8.3	△7.7	▲31.1	▲19.6	▲8.5	△4.8

サービス業

緊急事態宣言の飲食店・宿泊業への打撃大きく、大きく後退

<主要 3DI の動き>

主要 3DI は昨期からそろって下落した。この動きは 4 業種（製造業、建設業、小売業、サービス業）の中で唯一であり、緊急事態宣言の悪影響がサービス業を直撃したと推測される。水準でも 4 業種中で最低となっている。

緊急事態宣言解除の影響か、来期予想は大幅な改善を示唆している。ただ、新型コロナウイルスの感染状況いかんであり、今後の回復は予断を許さない。

売上額 DI の内訳をみると、「好転」は 2.5 ポイント減少、「悪化」は 3.2 ポイント増加した。

「好転」が 1 割未満、「悪化」は 7 割弱、「不変」は 2 割強という状況。

売上額 DI：- 61.1（前期比 - 5.7 ポイント）：大幅下落

採算 DI：- 52.6（前期比 - 4.5 ポイント）：下落

資金繰り DI：- 39.0（前期比 - 7.0 ポイント）：大幅下落

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

1 位 需要の停滞 (33.9%)

2 位 利用者ニーズの変化 (18.3%)

3 位 店舗施設の狭隘・老朽化 (7.5%) () 内は同要因を指摘する経営者の割合

今期の順位 1～3 位は昨期から変わっていない。1 位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は昨期から 1.7 ポイント増加、2 位「利用者ニーズの変化」の指摘割合は昨期から横ばい、3 位「店舗施設の狭隘・老朽化」は微減（ほぼ横ばい）となった。4 位「従業員の確保難」(5.5%) は昨期よりも指摘割合が減少しており、全般に需要不足感が強いと推測される。

<タイプ別にみた売上額 DI >

サービス業の中で業種別の内訳をみると、業種間の差が大きい。6 業種中、宿泊業と飲食店は 2 桁ポイントの大幅悪化となった。一方、運送業は 2 桁ポイント改善となったほか、自動車整備業でも大幅な改善がみられた。水準でみると、宿泊業と飲食店でマイナス 80 を下回る苦境に陥っている。

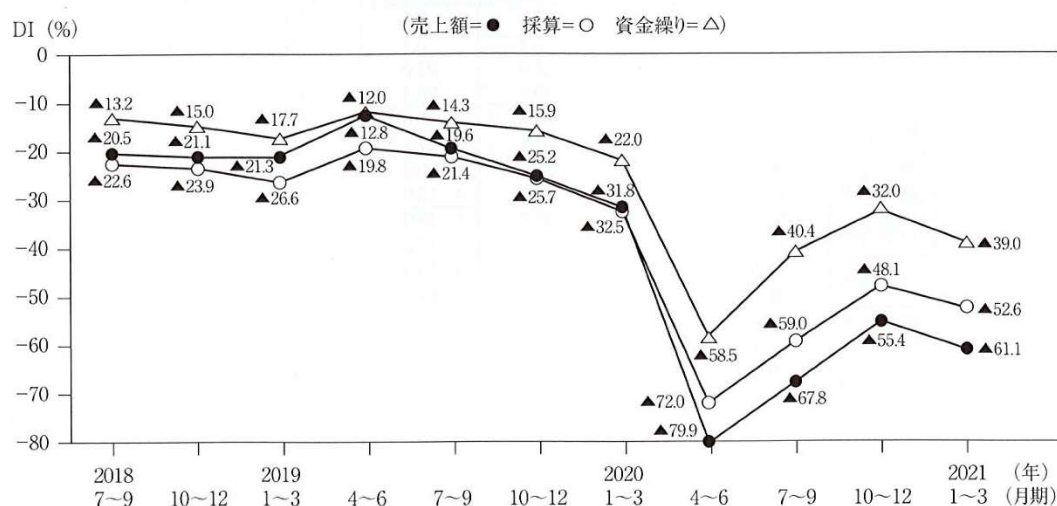
地域別にみると、8 地域中、中国を除く 7 地域で悪化した。特に、北海道は 2 桁ポイントの大幅な落ち込みとなった。水準も北海道が最低だが、いずれの地域もマイナス 50 を下回る水準に低迷しており、地域差は大きくない。

人口規模別にみると、全地域で悪化した。特に郡部・農村部（人口一万人未満の地区）は 2 桁ポイントの悪化となった。いずれの地域も水準は低く地域差は小さい。

従業員規模別の動きはまちまちだが、全規模で水準が低く、特徴・傾向はみられない。

1. 主要 3 項目の動き

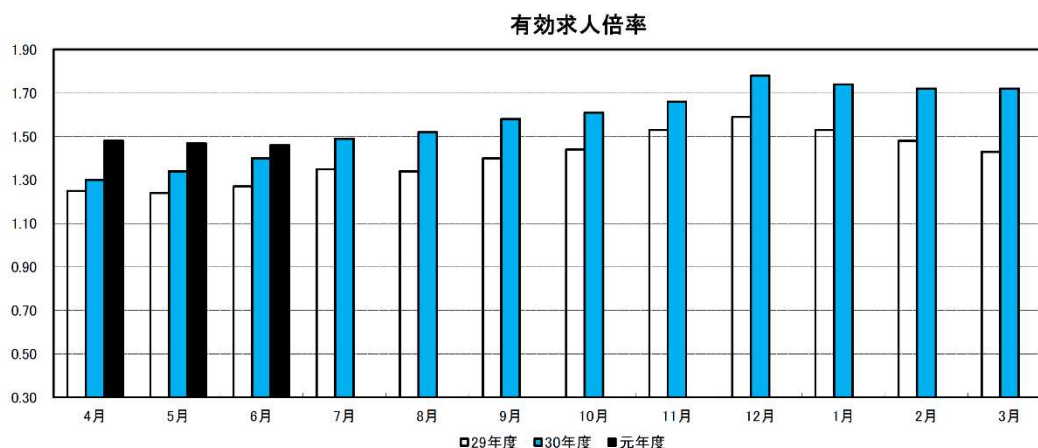
〈図 5 - 1〉 主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲48.1	12.1	12.4	△5.7	▲39.5	13.0	10.9	△4.5
前年比	▲67.1	▲48.2	▲30.2	△29.3	▲52.2	▲37.6	▲22.4	△20.1

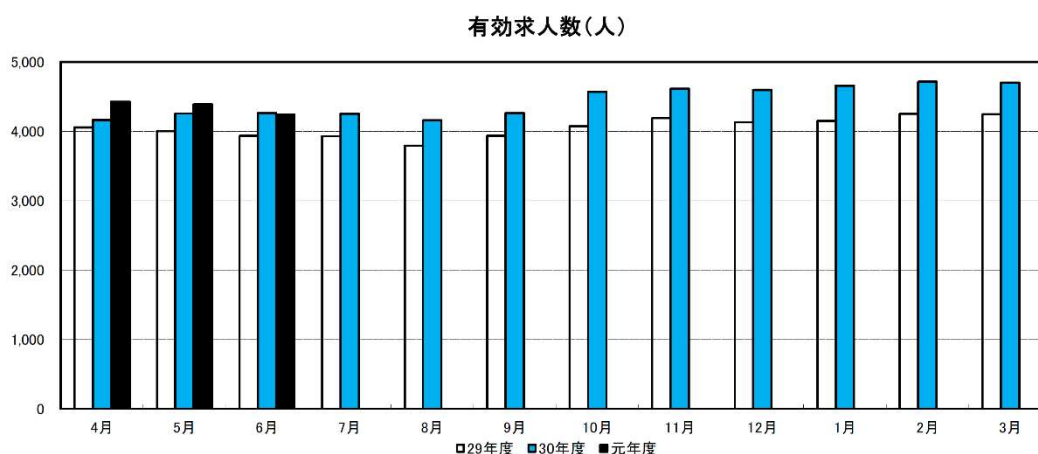
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査 2021 年 1-3 月期」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	1.25	1.24	1.27	1.35	1.34	1.40	1.44	1.53	1.59	1.53	1.48	1.43	1.40
30年度	1.30	1.34	1.40	1.49	1.52	1.58	1.61	1.66	1.78	1.74	1.72	1.72	1.57
元年度	1.48	1.47	1.46										1.47
対前月 (増減)	△0.24	△0.01	△0.01										—
対前年 (増減)	+0.18	+0.13	+0.06										—

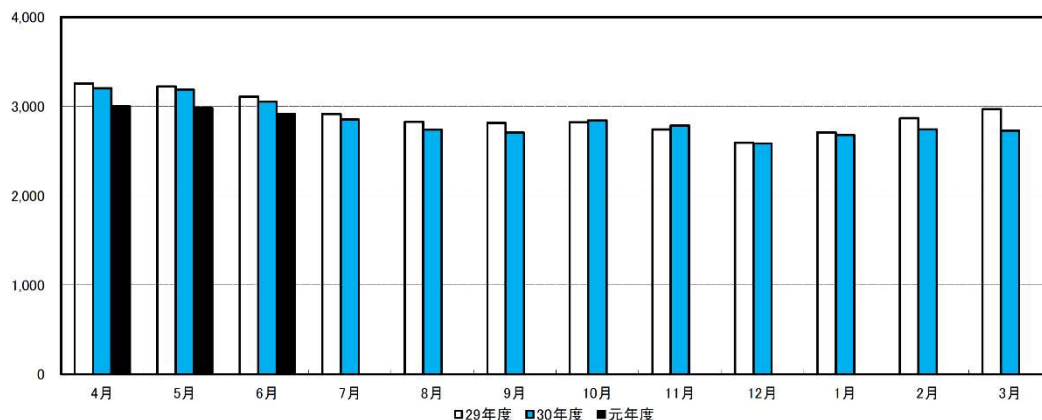
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	4,055	4,002	3,936	3,930	3,794	3,934	4,074	4,191	4,130	4,147	4,254	4,245	4,058
30年度	4,163	4,259	4,261	4,253	4,158	4,263	4,572	4,614	4,598	4,660	4,716	4,700	4,435
元年度	4,426	4,388	4,244										4,353
前月比 (%)	△5.83	△0.86	△3.28										—
前年同月 比(%)	+6.32	+3.03	△0.40										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

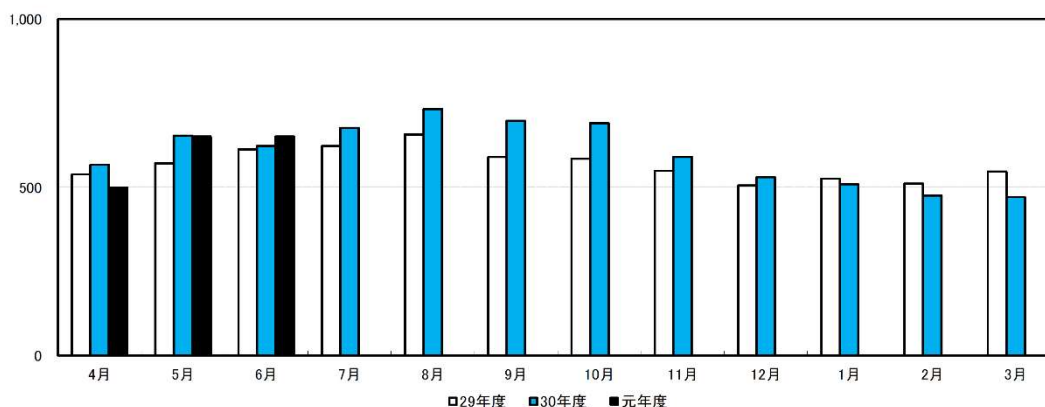
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	3,257	3,222	3,111	2,913	2,828	2,814	2,823	2,740	2,592	2,709	2,869	2,968	2,904
30年度	3,202	3,186	3,051	2,852	2,739	2,705	2,842	2,785	2,586	2,680	2,743	2,727	2,842
元年度	3,000	2,983	2,916										2,966
前月比(%)	+10.01	△0.57	△2.25										—
前年同月比(%)	△6.31	△6.37	△4.42										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	539	572	613	623	657	590	585	549	506	526	511	547	568
30年度	567	654	623	677	733	698	691	590	530	509	476	471	602
元年度	499	651	651										600
前月比(%)	+5.94	+30.46	0.00										—
前年同月比(%)	△11.99	△0.46	+4.49										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)

④業種別業況判断

主要業種の概況

鞆卸売業	県内鞆卸売業者によると、景況感は悪いとのことである。革、石油関連品など原材料費や運送費が高騰しているものの、市場での鞆の価格が上がっていないため、利益率が減少している。雇用人員については、鞆業界において製造部門の人手が不足している。鞆の需要がピークとなる春先において、製品の納期が遅れるという事態が発生してきている。今後は日本市場のみならず、海外市場の開拓にも力を入れていくとのことである。
宿泊業	県内温泉旅館によると、景況感はさほど良くないとのことである。インバウンド客の増加により客数は増加している。一方で、牛肉、カニなど原材料費の高騰により、宿泊費の値上げを行っているものの、利益率が減少した。雇用人員については、客室対応や料理場の人手が不足している。旅館によっては、外国人材の活用を進めているところもある。今後は、カニの時期ではないオフシーズンにおいても、需要を創出できるような取り組みに力を入れていくとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(平成31年4月)」より

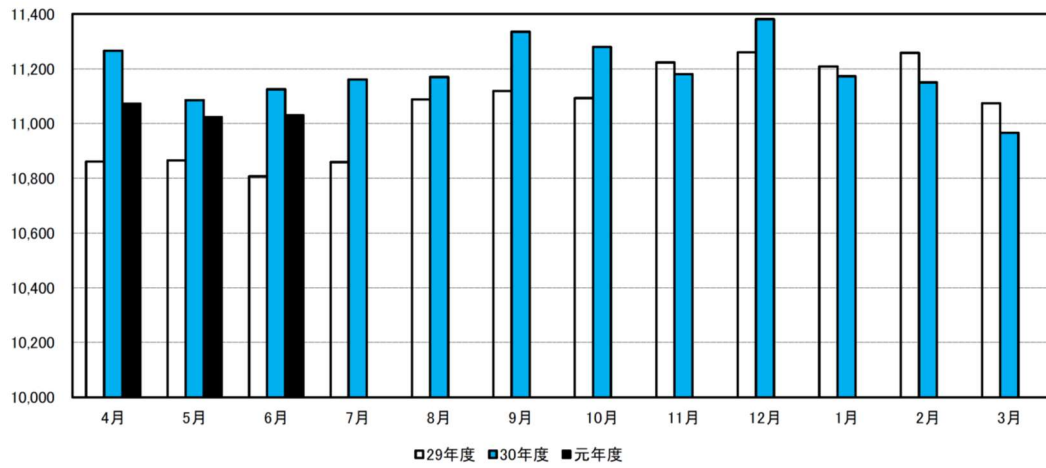
食料品製造業	県内の食料メーカーによると、景況感は良いとのことである。特に、主力製品の売上が好調である。しかし、消費税増税や、原材料費の継続的な高騰などもあり、今後の景況感は読めない。製品の生産ラインや業務の管理を見直し、原価率を下げ、高付加価値化に取り組んでいく。雇用人員については、適正である。職員の働きやすい職場を目指し、育児休暇等の各種制度の導入はもちろんのこと、フレキシブルな働き方も導入していくとのことである。
娯楽・宿泊業	県内のレジャー会社によると、景況感は良いとのことである。特にGWでの、レジャー施設部門の入込が好調で、全体的な売上は前年に比べ増加した。一方、宿泊部門では、GWでの宿泊数は増加したものの、GW前後の宿泊者数は前年に比べ減少した。カニの価格や運送費の継続的な高騰もあり、今後の景況感は良くはない。雇用人員については、宿泊部門で特に不足しており、旅館の営業スタイルを考える必要があると考えている。近隣の旅館によっては、定休日を設けるところもあるとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和元年5月)」より

繊維製造業	県内繊維製品メーカーによると、景況感は良くも悪くもない状況である。売上高は順調に推移しているが、資材、段ボール価格の上昇や運送費の高騰により製造原価は上昇している。雇用人員に関しては、海外工場からの実習生の受け入れで確保している。しかし、若い人材が特に不足しており、生産技術の伝承ができず課題である。今後も地道に高卒の採用活動を継続していく。また、新商品の開発にも力を入れていくとのことである。
宿泊業	県内旅館によると、景況感はさほど良くないとのことである。GWは、多くの観光客で賑わったが、連休前の旅行控えや連休後の旅行減少もあり、4-6月全体では昨年度より売上高は伸びなかった。雇用人員に関しては、客室対応・調理場の人員が不足している。連休前後に休館日を設けて対応する旅館もある。外国人材の活用も積極的に行っており、インターンシップの受け入れは順調であるとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和元年6月)」より

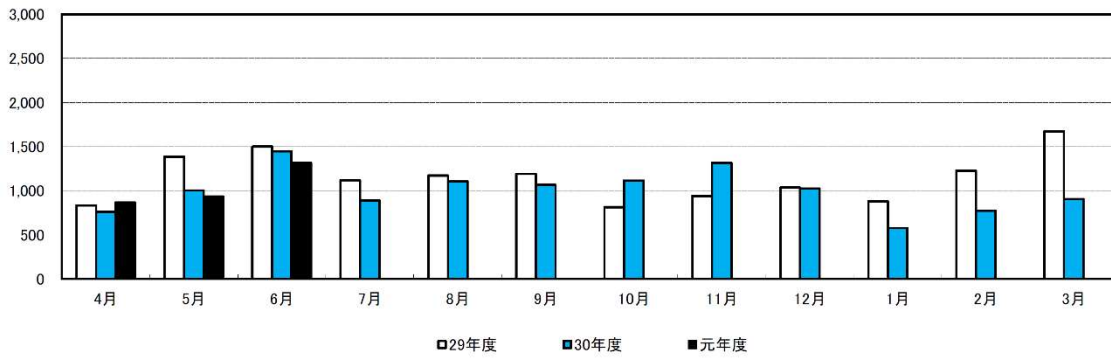
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	10,861	10,865	10,807	10,859	11,088	11,119	11,093	11,223	11,260	11,209	11,258	11,074	11,060
30年度	11,266	11,086	11,125	11,161	11,170	11,335	11,280	11,181	11,381	11,173	11,150	10,966	11,190
元年度	11,073	11,024	11,031										11,043
前月比 (%)	+0.98	△0.44	+0.06										—
前年同月比 (%)	△1.71	△0.56	△0.84										—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

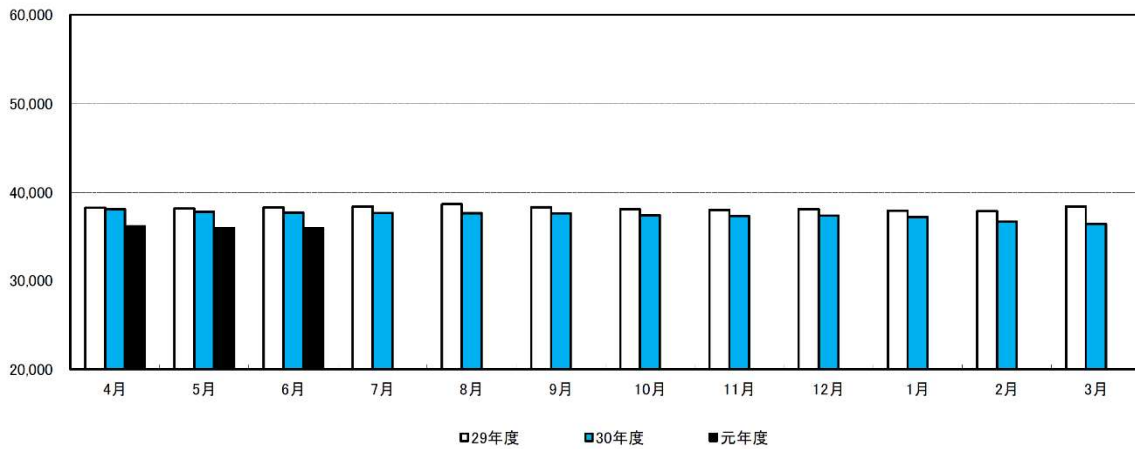
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	832	1,384	1,499	1,116	1,173	1,190	814	941	1,036	880	1,227	1,673	1,147
30年度	759	1,002	1,444	891	1,106	1,065	1,115	1,313	1,025	575	772	904	998
元年度	865	934	1,319										1,039
前月比(%)	△4.31	+7.98	+41.22										—
前年同月比(%)	+13.97	△6.79	△8.66										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

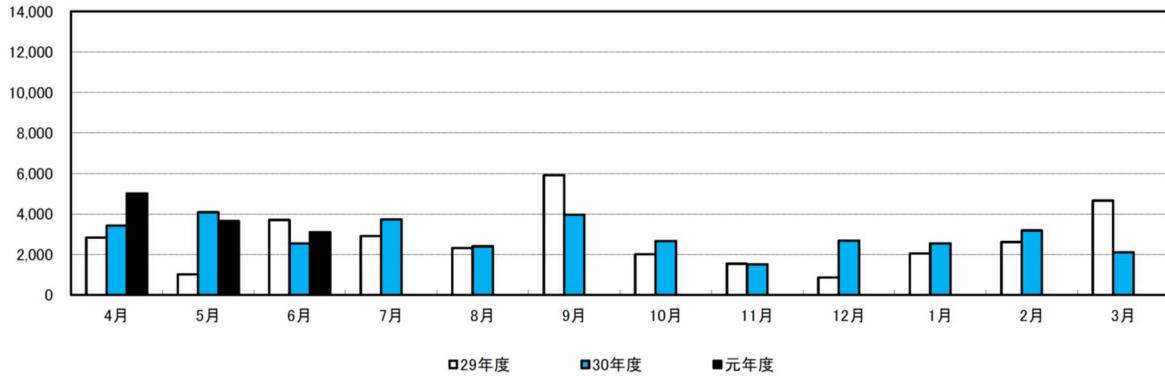


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	38,263	38,156	38,300	38,415	38,653	38,340	38,076	38,009	38,119	37,925	37,878	38,426	38,213
30年度	38,089	37,808	37,731	37,684	37,645	37,639	37,402	37,326	37,373	37,219	36,711	36,447	37,423
元年度	36,183	35,966	35,869										36,006
前月比(%)	△0.72	△0.6	△0.27										—
前年同月比(%)	△5.	△4.87	△4.93										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

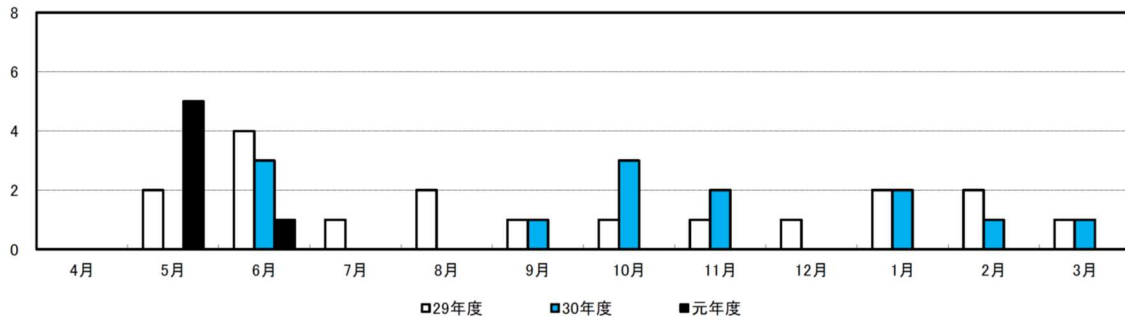


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	2,828	1,009	3,698	2,905	2,307	5,908	2,004	1,539	863	2,038	2,613	4,659	2,698
30年度	3,422	4,080	2,548	3,729	2,397	3,955	2,657	1,516	2,679	2,551	3,189	2,107	2,903
元年度	5,010	3,657	3,104										3,924
前月比 (%)	137.78	△ 27.01	△ 15.12										—
前年同月比 (%)	46.41	△ 10.37	21.82										—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	0	2	4	1	2	1	1	1	1	2	2	1	18
30年度	0	0	3	0	0	1	3	2	0	2	1	1	13
元年度	0	5	1										

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)